

部活動の地域移行をどうするのか

蒼生会 門脇晃幸 議員



市長 市役所を挙げて地域移行にしっかりと取り組む

中学校部活動の地域移行の進め方は

質問 現在、本市の部活動地域移行の実績とその内容について伺う。

答弁（教育長） 学校部活動の地域移行は、地域の子供たちは学校を含めた地域で育てるという意識のもと、生徒の望ましい成長を保障できるように、令和5年1月に、教育委員会と観光文化スポーツ部と協議し、お互いの情報を共有した。今年度は、仙北市部活動地域移行準備委員会を5月に開催し、6月28日には第1回仙北市部活動地域移行検討委員会を開催した。

今後は、部活動移行の受け皿となる団体、指導者、場所など様々な課題について協議していく予定である。また、令和5年度から夏の総合体育大会で地域移行された地域クラブの参加が認められているが、本市において地域クラブの参加はなかった。

質問 現在の中学校



■どうなる?! 今後の中学校の部活動

学習指導要領では、部活動は学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるように留意するとしているが、地域移行はこの方針に逆行するのではないか。整合性について見解を伺う。

答弁（教育長） 教育課程外での部活動と教育課程で行われる活動との関連を図る中で、その教育効果が発揮されることが重要であるとされている。中学生の時期に生徒自身の興味、関心に応じてスポーツや文化、科学などに親しむことは、学

習意欲の向上や責任感、連帯感の肝要など、学校教育が目指す資質能力の育成に資するものであると考えている。部活動が地域移行された場合でも、生徒が多様な学びや経験をする場や、自らの興味関心を深く追求する機会の充実につながるなど、教育課程との関連が図られている。

質問 部活動の地域移行が進むと、合同チーム等が解消されそうだが、学校の適正化配置との関連性をどのように捉えているか伺う。

答弁（教育長） 学校適正配置の取り組みでは、スポーツ、文化活動等においても多様な選択が出来るよう、一定の集団を確保できる規模を目指しており、生徒が希望する部活動で一生懸命取り組める環境を作るという方向性は同じである。部活動の地域移行は、学校適正化配置の推進状況を踏まえながら、生徒にとって充実した部活動環境になる事を目指していきたい。

教員の働き方改革について

質問 令和4年度の仙北市の教員の1か月当たりの残業時間はどれくらいか。また、仙

北市で独自の働き方改革の取り組み事例があれば伺いたい。

答弁（教育長） 残業時間は、一人当たり月平均35時間であり、前年より2時間減っているが、上限とされている月45時間超えは、中学校で約69%、小学校で約59%もあり、今後の対策を学校と協議する。独自の取り組みは、特別支援教育支援員33名の派遣事業。複式学級指導支援員3名の派遣事業。中学校部活動指導員6名の配置事業。スクールカウンセラー配置活用事業などである。

質問 部活動の地域移行による残業時間の改善効果について伺う。

答弁（教育長） 学校における部活動の休養日と活動時間の基準により算定すると、部活動担当者一人月当たり12時間から15時間の削減が見込まれる。

答弁 教員の働き方改革については、必要性を十分感じており、しっかりと取り組んでいきたい。

（中村和彦記）

女性のこころとからだのサポート強化を！

西宮三春 議員



市長 他自治体の事例も参考に女性サポートを強化したい

※ヒトパピローマウイルス(HPV)感染症ワクチンについて

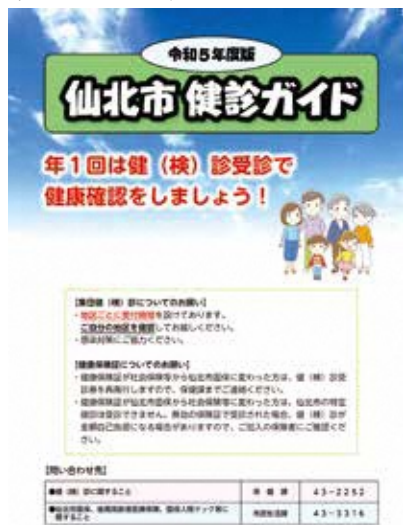
質問 本市におけるHPVワクチン接種対象者への情報提供方法と接種状況について伺う。

答弁 ワクチン接種対象となっていて方には、定期接種、キャッチアップ接種、双方について令和4年度に個別に通知をしている。推移状況は令和4年度中の接種完了者は552人中42人、キャッチアップ接種では676人中44人が接種完了している。

質問 9種類のHPVの感染を予防できる9価ワクチンが今年度から接種を希望できるが、周知方法について伺う。

答弁 市の広報やホームページにて情報発信をするとともに、定期接種対象者には9価ワクチンのリーフレットを配布しており、各中学校を通じて周知を図り、高校1年相当の年

に、定期接種対象者には9価ワクチンのリーフレットを配布してあり、各中学校を通じて周知を図り、高校1年相当の年



■仙北市での健診の種類・料金等が掲載の健診ガイド

齢で接種しない方には個別リーフレットを送付している。

質問 男性にもHPVワクチン接種が推奨されているが、仙北市は接種を進める考えはあるのか。

答弁 現状では男性への助成は考えていないが、今後、国の方針により適宜検討していく。

女性のこころとからだをサポートする仙北市を目指して。

質問 乳がん及び子宮頸がんの検診率はどれほどか。

答弁 令和4年度の対象者が乳がん検診は、5,032人に対して437人で8.68%。子宮頸がん検診は、6,524人に対して370人で5.67%である。

質問 仙北市男女共同参画計画で令和8年度の乳がん、子宮頸がん検診率の目標を30%としているが、達成のための取り組みを伺う。

答弁 最近ではコロナ禍で検診率が低いですが、今後積極的に情報発信をするとともに、他の自治体の先進事例など情報収集に努め、がん検診率向上に向けた取り組みを進めていく。

質問 無痛MRI乳がん検診の開始時期はいつか。また、予約方法、周知方法及び助成は検討されているのか伺う。

答弁 7月中には開始する予定である。予約方法は角館総合病院への電話や、MRI検診の読影先であるドウイブス・サーチ社のホームページからの予約も可能である。周知方法は広報やホームページ、LINEサービスなどである。助成については、導入したばかりで現在は考えていないが、受診状況に応じて検討していく。

質問 にかほ市が行っている女性のこころとからだをサポートする事業のような、不妊治療だけではなく、女性特有の症状で悩んでいる方へのケアを行う取り組みを取り入れることはできないか。

答弁 今後は、医療DX推進事業等を通じて、更に女性が健康相談しやすい環境を整備するとともに、他の自治体の事例も参考に、女性が安心して活躍できる社会を実現したい。

質問 産前・産後の家事支援の現状と来年度以降の支援体制について伺う。

答弁 令和4年度は3人から申し込みがあり1人が利用した。来年度以降は、利用者数が少ない現状を分析し、実態に見合ったサービスを心がけていく。

安心して子育てができる環境を

質問 乳児・幼児の子を持つ保護者への救命講習実施の現状を伺う。また、乳児健診時に救命講習を導入できないか伺う。

答弁 乳児・幼児の保護者の救命講習は、コロナ禍により年に1回のみ開催だったが、今後は半年に1度、年2回開催していく。また、乳児健診時の講習については、参加者へのアンケートなどを通じてニーズを把握しながら検討していく。

質問 産前・産後の家事支援の現状と来年度以降の支援体制について伺う。

答弁 令和4年度は3人から申し込みがあり1人が利用した。来年度以降は、利用者数が少ない現状を分析し、実態に見合ったサービスを心がけていく。

(澤田雅亮記)

用語解説

・ヒトパピローマウイルス(HPV)とは…性感染症や皮膚病の原因となるウイルス。性交渉によって性器やその周辺に感染する。これを原因とする病気として、子宮頸がん、膣がん、肛門がん、陰茎がんなどがある。

インタビューが聞きたい

7人の提言



小田島 広仁 議員

※ インターナショナルスクールを誘致する地域はどこか

市長 これから市内全域の遊休地を調査する

インターナショナルスクール誘致事業について

質問 学校を誘致するために①誘致PR事業②遊休施設等調査事業③MaaS事業の3つの事業を委託して、3年間かけて誘致を実現することだが、委託先と事業費及び事業の概要について伺う。また、学校を誘致する地域は決まっているのか。

答弁 ①(株)ジャパンナビ。委託費2千万円。誘致の宣伝企画と視察ツアーの実施等。②(株)北都銀行。委託費1,500万円。市内の遊休施設や土地等を調査しリストアップする。③JR東日本。委託費2,200万円。交通インフラ整備とデジタルサービスを組み合わせた新たな交通サービスを構築する。誘致場所は、今後、市内全域を対象に調査し候補地を決めたい。

ふるさと納税について

質問 令和4年度の納税額と人気の返礼品を伺う。また、昨年の12月からスタートした旅先納税の状況について伺う。

答弁 過去最高の18億5千万

円超で県内1位だった。人気の返礼品は、米、パックライス、めん類の順である。旅先納税は、まだ認知度が低く、13件で62万円の実績だった。

質問 今年度は20億円を目指すとしているが、新たな企画を伺う。

答弁 新たなポータルサイトの追加、中間業者の一本化、総務省のアドバイザー制度を活用する。また、昨年スタートした旅先納税を強化する。

第36回田沢湖マラソンについて

質問 昨年度620万円もの赤字となった田沢湖マラソンの募集が始まったが、赤字改善と現在の申し込み状況を伺う。

答弁 参加料の値上げ、コロナ抗原検査キットの廃止、ゲストランナー招待と前夜祭の見合わせ、一部業務を民間に委託するなど収支改善を図る。6月15日現在で、1,044件の応募があり、昨年同時期より500件程少ない状況である。

旧田沢湖町郷土史料館跡地の緑地管理について

質問 令和2年度に市が管理することを条件に、田沢財産区が300万円繰出して緑地化した。現在、ロープが張られ草は伸び放題、芝生は生え揃わず土の部分が多く、田沢財産区管理委員からも苦情が出ている。今後の管理と活用方について伺う。

答弁 観光課が維持管理し、年2〜3回の草刈りを行っている。芝生は徐々に広がっているが、雑草の生育も著しいため、草刈り等の時期や回数等を再検討する。ロープは外して自由に遊べる場所として開放したい。



管理が維持管理が難しく、雑草の勢いが強い郷土史料館跡地の緑地

冬期間閉鎖の公衆トイレについて

質問 今年は花の開花が早い。

く、観光のお客様の動きも早かったが、田沢湖地域で冬期間閉鎖している公衆トイレが開いておらず苦情があったと聞いている。雪が解けたら使用可能にできないのか。

答弁 冬期間閉鎖は11月下旬から4月下旬としている。雪解けの状況に合わせて使用開始できる体制について、清掃委託先と協議し検討したい。

アルパこまくさの営業時間延長について

質問 昨年度から市直営となったアルパこまくさの営業時間見直しは、一年前の一般質問でも取り上げられ、市長は従業員を増やし営業時間を延ばすと答弁されたが、現在も15時30分での受付終了が変わっていない。営業時間延長はできないのか。

答弁 令和5年度の当初予算編成時に、従業員の確保が困難なことから財政難の両面から営業時間延長を断念したが、登山者の利用が見込まれる6月から8月の営業時間延長について検討している。

(高橋輝彦記)

用語解説

・インターナショナルスクールとは…日本に在住する外国籍の子どものための教育施設。最近では日本の子どもも入学できるスクールが増えている。
 ・MaaS事業とは…Mobility as a serviceの略で、スマホアプリで住民や旅行者に公共交通や複数の交通機関を最適に組み合わせて検索・予約ができる移動サービス事業。

桜まつり開催期間を桜の開花時期に合わせて変更できないか



中村和彦 議員

市長 来年度以降、開催期間を再考したい

桜まつりの現状と桜の未来について

質問 今年は、桜の開花が異常に早かった。近年早くなってきた。桜まつり開催期間についての考えを伺う。

答弁 桜の開花、満開の時期は最も早く、枝垂れ桜は、4月5日開花・9日満開、ソメイヨシノは8日に開花・12日に満開を迎えた。従来の開催期間（4月20日から5月5日）では、最盛期の桜を観光客の方々に楽しんでいただくタイミングとは言えなくなっている。角館の観光行事実行委員会にて、来年度以降の開催期間を再考したい。

質問 プレオープン前に満開となり、出店者は15日からの営業で、売り上げに影響があった。今後の出店者の対応を伺う。

答弁 「桜の開花にあわせて営業開始日を弾力的に考えてほしい。」「桜並木駐車場からの動線上出店している箇所が見えづらい。」などの声がある。角館の観光行事実行委員会と出店者組合と十分な話し合いを重ねていきたい。

質問 落合地区は、隠れた桜

の名所となりうる。魅力発信を強化・推進してはどうか。

答弁 落合地区の桜は、樹齢も若く生き生きとした花を咲かせている。武家屋敷通りから離れていることもあり観光客は多くない。イベント開催できないか、実行委員会等で検討する。

質問 国指定以外の桜の管理について伺う。

答弁（観光課長） 角館の桜まつり期間以降も長く仙北市内の桜を楽しんでもらえるように、桜まちづくり係として、国指定以外の桜についても枝切り、施肥、草刈りなどを順番に実施している。

質問 樹齢90年になる松木内川堤の桜の今後が心配である。具体的な対策を伺う。

答弁 伐採や植え替えに頼ることなく、生育環境を改善し治療することで樹勢を回復させることを基本方針としている。

質問 武家屋敷通りの枝垂れ桜は、伝承館辺りに集中している。間伐によって日当たりを良くして、新たに桜の木を植えられないか。また、所有者負担となる枝切りにかかる経費の補助はあるのか。

答弁 角館の枝垂れ桜162

本の内、約80本が伝建地区内にある。武家屋敷の風格は、武家住宅と庭に配された樹木が一体的に保存されていることがあげられる。一本一本に所有者がおり、管理をしている。補助金はない。

落合地区の玉川河川敷について

質問 公園のように見えるが機能していない。管理は誰が行っているか。

答弁 玉川河川敷は、県が整備したのち、旧角館町と管理協定を結び、市が管理している。年2回の草刈りを業者にて委託している。見回りをしながら、草が伸びた際には回数を増やしたい。

質問 設置されている水路に、水が流れていたら、子どもたちの大好きな水遊び場になると思うが、見解を伺う。

答弁 整備当初から水は流れていない。この場所に清潔な水を流すことは難しい。取水する考えはない。



■次期桜まつりには、きれいな欄干を

横町橋の修繕工事について

質問 欄干が見るも無残な状態ある。安全性、美観を考えると早期に修繕が必要である。橋の架け替えを考えているのか。見解を伺う。

答弁 欄干は、桜並木の美観を際立たせるので、劣化が激しい箇所は今年度修繕をする。着工時期については明言できないが、いずれは橋全体の補修工事を予定している。（平岡裕子記）



澤田 雅亮 議員

仙北市に病児保育が必要ではないか

市長

病後児保育より病児保育の希望が多ければ
双方の事業を検討したい

市職員の働き方改革
について

質問 仙北市役所は残業時間が長く、残業代による資金流出が多く発生している。田口市政以前の平成21年から令和3年までの平均で、年間3万4,647時間、8,400万円ほどの残業代が毎年計上されている。財政状況が悪化している中で、市政改善の最初は、働き方改革にあるのではないのか。仙北市の働き方を改善する具体的な取り組みを伺う。また、既に発表されている仙北市特定事業主行動計画は機能しているのか。

回答 人も減らさず、仕事も減らさず業務時間の短縮を行うには効率化が必要で、精神的な手法ではなく、仕事の方法の見直し、そして職員の能力向上を併せて行う必要があると考える。現在、人事配置と人件費の適正化を目的とした業務量調査を実施している。残業



DX推進による生産性向上と業務時間短縮を目指す仙北市役所

の1割削減を目標としており、令和3年、4年の期間外総額、平均8,618万9,000円を令和6年度までの2年間で1割削減し、7,757万円を目標にしている。

仙北市特定事業主行動計画については、現在、月曜日の定時退庁を強く勧め、執務室等の消灯時間を設定するなど取り組みを進めている。また、DXの推進による生産性の向上と業務時間の短縮を目指してしていく。

厳しい時代の中、自治体の総合力を上げるため、職員研

修の実施、県庁や民間企業への派遣を行うなど、職員の育成が地方行政の底上げにつながり、そして人づくりこそが本市のまちづくりであるものと考えている。

こども園・保育園におけるごはん持参について

質問 こども園・保育園の3歳児からのごはん持参ルールを解消し、市がごはんも提供するべきではないか。

回答 市内には、公立保育園3園のほかに、社会福祉法人はなさき仙北運営の私立認定こども園5園があるため、法人との協議も必要だが、子どもの数がどんどん減っていく中で、子育て支援等の姿勢を示す意味でもごはん提供の検討が必要であると考えている。

病児保育の必要性と今後の具体的な動きについて

質問 これまでも病児保育の必要性を訴えてきたが、市長は、病後児保育から始めるとの意向だった。しかし、現在も病後児保育の動きが不明であり、やはり病児保育から始

めるべきではないか。また、病児保育について、市立角館総合病院と直近で協議したことがあるのか。

回答 病後児保育については以前より実施に向けて検討しており、市立角館総合病院に病後児保育の協力を相談したのは、直近では5年ほど前であり、敷地内への設置は難しいことから、市の中心部である神代地区への設置を検討していたが、令和3年に市立角館総合病院へ小児科医が着任されたことから、近隣への設置を模索している段階である。近年は、出生者の6割近くが角館地区に集中する傾向にあることから、角館地区への設置を検討している。

病後児保育よりも病児保育を希望する保護者が多いとすれば、病児保育も含めた事業について検討していきたい。また、病児保育実施場所としては、病院、診療所、保育所等に敷設された専用スペースまたは専用施設となることから、設置場所についても今後検討を進めたいと考えている。

(真崎 寿浩 記)

仙北市独自の少子化対策が必要ではないか



蒼生会 高橋輝彦 議員

市長

育児支援金の効果を検証し さらなる少子化対策を検討する

次元の異なる少子化 対策について

質問 昨年度の出生数が70人の仙北市は少子化対策が最重要課題である。国は子ども家庭庁を新設したが、市の組織に変更はないのか。また、国は次元の異なる少子化対策の柱として児童手当の拡充を掲げているが、市としても独自の対策を打ち出すべきではないか。

答弁 子ども家庭庁の新設効果はまだ感じられないが、仙北市は、妊産婦から子育てまで子どもに関する一体的な相談支援の充実を目指し、令和6年度に「子ども家庭センター」の設置を予定している。市の独自の取り組みとしては、今年度から所得制限なしで1歳、2歳児全員に年間1万5千円の育児支援金を支給している。この継続的な経済支援事業の効果を検証した上で、さらなる市独自の少子化対策を検討したい。

質問 加速する少子化の大きな要因として未婚の増加がある。独身男女の出会いや交流の場の創出について、市が本気で取り組むべきではないか。

答弁 従来の行政主体の出会い系のイベントではなく、例えば、地域おこし協力隊が市民と協働で音楽イベントやアウトドア体験等を開催し、市が陰で支える開催方法などが有効ではないかと考えている。

マイナンバーカード を安心して活用できる ように

質問 マイナンバーカード取得後の相談窓口はあるのか。また、登録情報を本人が確認する方法を周知しているのか。

答弁 市民生活課、市民センターで相談を受けているが、現時点でトラブルの問い合わせ



「子ども家庭センター」が設置予定の保健課と子育て推進課の窓口

せはない。登録情報を確認する方法については、パンフレットなどを配布している。

質問 自分や家族の登録情報は、スマホのマイナポータルというアプリで確認できるので市民に案内してはどうか。すでに7割もの市民がマイナンバーカードを取得しているのでフォローもしっかりお願いしたい。

答弁 市民生活課、市民センターで対応したい。

仙北市での水素生成 による新たな産業の 創出について

質問 東北大学の実証実験により、仙北市地域新エネルギービジョンに掲げられた、玉川温泉水を活用した水素生成による新たな産業の創出について、コロナも落ち着き、あらためて産学官連携して本格的に取り組み考えはないか。

答弁 (副市長) 現在も東北大学が、玉川温泉水を活用した水素生成及び貯蔵実験を継続している。しかし、水素を生成するためのアルミニウムがウクライナ危機により入手困難な状況にある。世界情勢が

好転し、廃アルミニウムが安価で大量に入手できれば、将来的に仙北市での地産地活の次世代エネルギー産業の可能性を期待している。また、水素からアンモニウムを作る産業の可能性も期待している。

落合野球場で天皇杯軟 式野球大会の開催を

質問 軟式野球最高峰の天皇杯の開催会場として落合野球場も候補地となっており、主に選手の安全面を考慮した球場環境整備を整えていたいただきたいが、市長の意向を伺う。

答弁 天皇杯を開催するための環境整備の経費を把握したうえで最終判断したい。

質問 熱中症から子どもたちの命を守る電光掲示板の設置は、半導体が入手できず天皇杯には間に合わないが、今後、これまでに要望してきた大規模改修を実施するべきではないか。

答弁 落合球場の電光掲示板を含めた大規模改修については、限られた財源の中でも安全対策、優先順位を考え検討する。

(西宮三春記)



蒼生会 武藤 義彦 議員

地元の魅力的な職場を認識してもらうには、幼少期からの体験が効果的ではないか

教育長

※ 「ヤマメ・サクラマスプロジェクト」で動いていく

仙北市の就職、雇用の現状について

質問 コロナ前から最近の市内の求人状況はどのようなようになっているのか、また、新卒者の市内就職者は増加傾向にあるのか伺う。

答弁 コロナにより最も影響を受けている業種は、宿泊業や飲食店等のサービス業であり、営業時間の短縮や休業により離職者が増加し、新規求職者の減により求人倍率が増加している。

新卒者の市内企業への就職状況については、令和3年度に就職率が増加したものの、令和4年度はコロナ前と概ね同様の就職率となっており、減少傾向となっている。令和3年度は卒業生数が185名、仙北市内企業就職者数が27名、全体の14.6%であり、令和4年度は卒業生数が167名、仙北市内企業就職者数が15名、全体の9%という状況である。

質問 地元にも魅力的な職場があるということを認識してもらうためには、幼少期から体験させることが効果的だと感じている。当初予算にヤマメ・サクラマスプロジェクト

事業費が計上されているが、具体的な取り組み内容を伺う。

答弁 (教育長) 今まで中学生以上で実施してきた職場体験を小学校高学年を対象に実施する。また、企業の魅力をよりはつきりと感じてもらうよう、職場体験実施後に企業の魅力を伝えるポスターを子ども自身で作成させる計画である。これは昨年度の子ども議会での提案を事業化したものである。また、市内の中学2年生を対象とした企業説明会を11月に計画しており、毎年開催していく予定である。

マイナンバーカードについて

質問 カード取得者の年代別内訳を伺う。また、誤登録などの内容は市で確認できるのか伺う。

答弁 各自治体における取得情報は、国の方針により非公表とされている。窓口での交付状況を見ると交付率が低い傾向にあるのが、10歳未満、30歳代、40歳代、80歳以上であり、交付率が高い傾向なのが、20歳代と70歳代である。近隣市町村や全国でも同様の傾向である。また、自治体で

は、個人の登録状況は一斉確認できない。

質問 市は、カードを持たない市民に対しても的確な情報を提供する説明責任がある。特に今後の健康保険証の取り扱いについて伺う。

答弁 カードを持たない方の様々な相談や苦情の対応については、市民生活課、各市民センターで対応する。来年度に予定の健康保険証との一体化に関しても、常に国の動きを注視し、最新の情報を提供しカードが無くても支障のないように対応していく。

アルパこまくさについて

質問 昨年の6月定例会において、今年度までの収支等进行分析し、令和6年度から民間

事業者への運営を考えているとのことであったが、現状ではどうなっているか、また、市長の考えには、休止、休館という選択肢はあるのか伺う。

答弁 この1年間で経費算定の目途をつけるのは難しいことと、施設の老朽化が著しく、安全な運営には施設の大規模修繕が必要であり、令和6年度からの運営委託は、現時点では見送っている。

今後は、修繕の予算等を検討し、できれば露天風呂に入りながら田沢湖を眼下に見下ろす唯一無二の景観を有する温泉施設なので、何とか存続していきたいと考えている。

(小田島広仁記)



■存続を模索する景観が人気のアルパこまくさ

用語解説

・ヤマメ・サクラマスプロジェクトとは…ヤマメは海に出てサクラマスとして生まれた場所に戻ってくることから、子どもたちもそうなることを期待しての取り組み。